

平成 30 年度

岡山大学理学部第 3 年次編入学

学 生 募 集 要 項

岡 山 大 学 理 学 部

連絡先 岡山大学理学部事務室 教務学生担当

所在地 〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目 1 番 1 号

電 話 (086) 251-7778

目 次

	ページ
1 募集人員等	1
2 出願資格	1
3 障がい等のある方の出願	1
4 出願手続	2
5 受験票の交付	4
6 入学者選抜方法等	5
7 合格者発表及び入学確約書の提出	7
8 入学手続	7
9 その他	7
岡山大学理学部の学士課程教育における 3 つの方針	9
1) 学位授与方針 (ディプロマポリシー)	
2) 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラムポリシー)	
3) 入学者受入れの方針 (アドミッションポリシー)	

1 募集人員等

学 科	募集年次	募集人員	出 願 上 の 注 意
数 学 科	3 年 次	計 2 0 人	(1) 出願学科は1学科のみとします。 (2) 募集人員には推薦入試を含みます。
物 理 学 科			
化 学 科			
生 物 学 科			
地球科学科			

2 出願資格

(1) 一般入試

次のいずれかに該当する者又は平成30年3月までに該当する見込みの者

- ① 大学を卒業した者（外国の大学を卒業した者及び外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）を含む。）
- ② 短期大学を卒業した者（外国の短期大学を卒業した者及び外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）を含む。）
- ③ 高等専門学校を卒業した者
- ④ 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）
- ⑤ 学校教育法第132条に規定する専修学校の専門課程を修了した者
注：学校教育法第132条に規定する専修学校の専門課程とは、修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上の専門課程のことです。
- ⑥ 大学に2年以上在学し（休学期間を除く）62単位以上修得した者

(2) 推薦入試

次の①～③のすべてに該当する者

- ① 高等専門学校を平成30年3月に卒業見込みの者（ただし、高等専門学校へ編入学した者を除く。）
 - ② 高等専門学校の学業成績が優秀で、学校長が人物、能力、素質、適性等について責任をもって推薦できる者
 - ③ 合格した場合、入学を確約できる者
- ※ 同一の高等専門学校から、複数人の推薦を可とします。

3 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談締切期限	平成29年 5月8日 (月)
相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求し、医師の診断書、障害者手帳の写し(交付されている方のみ)を添えて相談してください。
請求先 相談先	〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号 岡山大学理学部事務室 教務学生担当 電話 (086) 251-7778

4 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、(5)の「出願に必要な書類等」を出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。出願に使用する封筒は各自でご用意の上、朱書きで「理学部第3年次編入学試験出願書類在中」と封筒の表面に記載してください。

(2) 出願期間

平成29年 5月22日 (月) ~ 5月30日 (火)

出願の方法は郵送とし、平成29年5月30日(火)17時までに必着とします。これ以降に到着したものは、平成29年5月29日(月)までの消印のあるものに限り受理します。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。また、発送時に到着日時を必ず確認しておいてください。ただし、平成29年5月30日(火)に限り、9時00分から17時00分まで次の(3)の提出先への持参による出願を認めます。

(3) 提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号
岡山大学理学部事務室 教務学生担当
電話 (086) 251-7778

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④ 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑤ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、編入学願書に記載した氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。

(5) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等	摘 要
① 編入学願書（様式1）, 受験票・写真票	所定用紙に、入学志願者本人が必要事項を記入してください。
② 写 真（2枚）	縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真2枚を、「編入学願書」及び「写真票」の所定欄にのりで貼り付けてください。（貼る前に、写真の裏面に志望学科名と氏名を記入してください。）
③ 入学検定料	<p>30,000円（振込手数料が別に必要です。）</p> <p>入学検定料は、添付の「入学検定料振込用紙」により、金融機関（ゆうちょ銀行又は郵便局を含む。）窓口（ATMは利用できません。）からの振込によって納入し、必ず「入学検定料振込証明書」を「入学検定料振込証明書貼付票」の所定欄にのりで貼り付けてください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">入学検定料の返還について</div> <p>次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済みの入学検定料は返還しません。</p> <p>ア 入学検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合</p> <p>イ 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p>
④ 成績証明書	最終出身（在学）学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。
⑤ 推薦書（様式2）	<p>（推薦入試による入学志願者のみ）</p> <p>所定用紙に、在学する高等専門学校長が作成し、厳封したものを提出してください。</p>
⑥ 卒業（見込）証明書 ※該当者のみ	推薦入試の入学志願者全員、並びに一般入試の入学志願者のうち出願資格①②③に該当する者は、最終出身（在学）学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。
<p>出願資格を確認できる 証明書</p> <p>⑦（様式3、様式4 又は様式5） ※該当者のみ</p>	<p>一般入試の入学志願者のうち出願資格④に該当する者は、高等学校等が発行する「修業年限2年以上で、かつ、その他文部科学大臣が定める基準を満たす高等学校等の専攻科の課程を修了（見込み）」である出願資格の証明書（様式3）を提出してください。</p> <p>一般入試の入学志願者のうち出願資格⑤に該当する者は、専修学校が発行する「修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上の専門課程を修了（見込み）」である出願資格の証明書（様式4）を提出してください。</p> <p>一般入試の入学志願者のうち出願資格⑥に該当する者は、「大学に2年以上在学し（休学期間を除く）62単位以上修得（見込み）」である出願資格の証明書（様式5）を提出してください。</p>

⑧ 受験票送付用封筒	所定の封筒に，入学志願者本人の住所，氏名及び郵便番号を明記し，362円分の切手を貼り付けてください。
⑨ 連絡受信先シール (様式6)	合格通知・入学手続書類・入学式他諸手続の案内の受信先住所等を記入してください。

(6) 個人情報の利用目的

出願書類等及びこれに記載・貼付されている個人情報並びに入学試験成績の個人情報は，入学者選抜に関する業務に使用します。

なお，これらの個人情報は，入学者選抜及び大学教育の改善のための調査・研究の資料としても利用します。ただし，調査・研究結果の発表に際しては，個人が特定できないように処理します。

また，次の個人情報は，入学者選抜以外の業務，システム等でも利用します。

- ・ 入学者のみ，氏名，生年月日，性別，出願資格，入学学部・学科等の個人情報を，本学の学務システムで利用します。なお，入学者のうち，入学料徴収猶予申請書，授業料免除申請者については，入学試験成績の個人情報をそれぞれの学力判定処理に利用することがあります。
- ・ 合格者のみ，氏名，生年月日，性別の個人情報を，本学の授業料債権管理システム及び授業料免除事務システムで利用します。

5 受験票の交付

(1) 受験票は，平成29年6月2日（金）頃に，入学志願者本人あてに発送します。

なお，平成29年6月9日（金）までに到着しない場合は，次の連絡先に連絡してください。

岡山大学理学部事務室 教務学生担当 【電話 (086) 251-7778】

(2) 受験票は，試験当日及び入学手続の際に必要なとなりますので，試験後も大切に保管しておいてください。

6 入学者選抜方法等

(1) 試験科目及び配点

① 一般入試

学 科	試 験 科 目	内 容 等	配 点	
数 学 科	筆記 試験	専門科目 (数学)	200点	300点
	面 接 (口述試験を含む)		100点	
物 理 学 科	面 接 (口述試験を含む)	物理及び英語に関する基礎知識の口述試験を含み、科学的思考力、表現力、学習意欲及び適性を総合的に評価します。	100点	
化 学 科	面 接 (口述試験を含む)	化学及び英語に関する基礎知識についての口述試験を行い、勉学意欲、学習能力及び適性を総合的に評価します。	100点	
生 物 学 科	外国語科目 (英語)	英語能力試験の成績証明書により評価します。 ※英語能力試験の成績証明書について 試験日の2年前から出願までの間に受験した下記のいずれかの英語能力試験の成績証明書の原本を提出してください。確認後、お返しします。 ・TOEIC® (公開テスト) ・TOEIC® L&R (公開テスト) ・TOEIC®-IP ・TOEIC® L&R IP 団体特別受験制度(カレッジTOEIC®もこれに含まれます。)で 受験した場合(写真票等による本人確認が実施されていること。)はScore Sheetの原本を提出してください。 ・TOEFL®-PBT ・TOEFL-iBT® なお、上記の英語能力試験科目の複数を受験し、複数の成績証明書を提出した場合は、有利なものを採用します。	100点	300点
	面 接 (口述試験を含む)	生物学に関する基礎学力についての口述試験を行い、勉学意欲、学習能力、適性を総合的に評価します。口述試験には英語に関するものが含まれる場合があります。	200点	
地 球 学 科	面 接 (口述試験を含む)	地球科学の基礎となる分野(物理、化学の中から選択)と数学及び英語に関する基礎学力についての口述試験を行い、また、勉学意欲、学習能力、地球科学を学ぶための適性を総合的に評価します。	100点	

※ 面接の評価には、書類審査が含まれます。

② 推薦入試

学 科	試 験 科 目	内 容 等	評 価
数 学 科	面 接 (口述試験を含む)	志望理由の他に、数学に対する意欲や基礎知識を問う質問を行います。また、英語能力を問うこともあります。	書類審査及び面接により、総合的に合否を判定します。
物 理 学 科		物理及び英語に関する基礎知識の口述試験を含み、科学的思考力、表現力、学習意欲及び適性を総合的に評価します。	
化 学 科		化学及び英語に関する基礎知識についての口述試験を行い、勉学意欲、学習能力及び適性を総合的に評価します。	
生 物 学 科		生物学に関する基礎学力についての口述試験を行い、勉学意欲、学習能力、適性を総合的に評価します。口述試験には英語に関するものが含まれる場合があります。	
地 球 学 科		地球科学の基礎となる分野（物理、化学の中から選択）と数学及び英語に関する基礎学力についての口述試験を行い、また、勉学意欲、学習能力、地球科学を学ぶための適性を総合的に評価します。	

(2) 試験日程

① 一般入試

試 験 日	試 験 科 目	試 験 時 間
平成29年 6月18日 (日) (数学科)	筆記 試験 専門科目 (数学)	9時00分～11時30分
	面 接 (口述試験を含む)	13時00分～
平成29年 6月18日 (日) (物理学科, 化学科, 生物学科, 地球科学科)	面 接 (口述試験を含む)	9時00分～

※ 定められた試験科目を1科目でも受験しない場合は、失格とします。

② 推薦入試

試 験 日	試 験 科 目	試 験 時 間
平成29年 6月18日 (日) (数学科)	面 接 (口述試験を含む)	13時00分～
平成29年 6月18日 (日) (物理学科, 化学科, 生物学科, 地球科学科)	面 接 (口述試験を含む)	9時00分～

(3) 試験会場

岡山大学理学部（1号館） 【岡山市北区津島中三丁目1番1号】

〈試験会場への経路〉

- ① JR岡山駅西口（運動公園口）バスターミナル22番のりばから岡電バス【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車，「岡大西門」で下車（バス所要時間約10分）。
 - ② JR岡山駅東口（後楽園口）バスターミナル7番のりばから岡電バス【16】系統「津高台団地・半田山ハイツ」行き，【26】系統「岡山医療センター国立病院」行き，【36】系統「辛香口」行き，【86】系統「運転免許センター」行きのいずれかに乗車，「岡山大学筋」で下車，徒歩約7分（バス所要時間約10分）。
 - ③ JR津山線「法界院駅」で下車，徒歩約10分。
- ※ 記載のバス所要時間は，通常の交通状況での見込み時間です。

7 合格者発表及び入学確約書の提出

- (1) 合格者の発表は，次のとおり掲示により行います。

日 時	掲 示 場 所
平成29年 7月 7日（金） 10時00分の予定	理学部玄関前掲示板

- ① 掲示板に合格者の受験番号を発表し，同日付けで合格者には合格通知書及び入学確約書等を本人あてに郵送します。
- ② 推薦入試については，出身学校長にも合否の結果を通知します。
- ③ 掲示による合格者発表後，理学部ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。
(<http://www.science.okayama-u.ac.jp/>)
- ④ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

- (2) 入学確約書提出期限の平成29年8月23日（水）までに入学確約者が募集人員に満たなかった場合は，追加合格該当者から欠員を補充します。

追加合格該当者には，平成29年8月24日（木）から8月25日（金）までの間に，理学部から電話により，編入学願書に記載した合格通知等受信場所に連絡します。

8 入学手続

- (1) 入学手続方法

入学確約書を提出した者（入学確約者）に対して，「入学案内」を郵送します。

- (2) 入学手続期間

平成29年11月下旬（具体的な日程は，入学確約者に対して改めて通知します。）

9 その他

- (1) 入学料及び授業料

入 学 料 282,000円〔予定額〕

授 業 料 267,900円（年額 535,800円）〔予定額〕

※入学時及び在学中に改定が行われた場合には，改定時から新たな金額が適用されます。

(2) 修学援助

修学援助の一環として、入学科免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金の制度があります。

(3) 編入学の時期

- ① 編入学の時期は、平成30年4月です。
- ② 修業年限は2年です。ただし、第3年次終了時までには本学部で定める所定の単位を修得しなかった場合は、3年以上必要となります。なお、最長在学年数は4年とします。

(4) 既修得単位の認定

編入学生が出身学校において修得した単位については、本学部の教育課程及び授業科目に照らし、書類審査、面接等による単位認定審査を行い、既に十分な学修成果を得ていると評価される場合は、本学部の単位を修得したものと認定します。

本学部の卒業要件単位数はいずれの学科も124単位であり、第3年次編入学生の既修得単位の認定の目安は下表のとおりです。

ただし、入学前の出身学校における専攻分野や単位修得した授業科目の内容等によっては、認定単位数が以下の目安よりも少なくなることがあり、場合によっては2年間での卒業が困難な場合もあります。

科目区分		認定単位数の目安
教養教育科目		最大認定単位数 30単位（卒業要件全単位）
専門教育科目	専門基礎科目	最大認定単位数 12単位（卒業要件全単位）
	専門科目	28単位程度

なお、既修得単位の認定には、講義概要（シラバス）、学生便覧等といった、出身学校のカリキュラムや授業内容についての資料の提出が必要になりますので、あらかじめ準備しておいてください。

※理学部各学科の開講科目の詳細は、岡山大学ホームページで確認することができます。

<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/binranindex.html>

岡山大学 → 学生生活 → 大学におけるルール → 学生便覧（学部規程、履修細則等）
（平成28年度の理学部学生便覧の内容を参照してください。）

- (5) 募集要項を郵便で請求するときは、請求する封筒に必ず「平成30年度岡山大学理学部第3年次編入学学生募集要項請求」と朱書し、返信用封筒〔角形2号（縦33cm×横24cm）に郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記し、205円分の切手を貼ってください。〕を同封の上、下記あて申し込んでください。

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号
岡山大学理学部事務室 教務学生担当
電話 (086) 251-7778

岡山大学理学部の学士課程教育における3つの方針

1) 学位授与方針（ディプロマポリシー）

人間性に富む豊かな教養【教養】

自然や社会の多様な問題に関心を持ち、幅広い視野から物事を捉えることができる豊かな教養を身につけている。

自然科学の理解と活用につながる専門性【専門性】

様々な自然現象の背後にある普遍的な法則や原理を理解するとともに、問題解決につながる汎用性に富んだ専門知識を身につけている。

効果的に活用できる情報力【情報力】

自ら情報を収集・分析し、正しく活用する能力を有するとともに、効果的な情報発信ができる。

時代と社会をリードする行動力【行動力】

国際的に活躍できる語学力とコミュニケーション能力を有し、社会生活の中での確に行動できる。

生涯に亘る自己実現力【自己実現力】

大学で培った知識と経験を生かし、自己の成長を追求することができる。

2) 教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

理学部では、本学部ディプロマポリシーに掲げる学士力（人間性に富む豊かな教養、自然科学の理解と活用につながる専門性、効果的に活用できる情報力、時代と社会をリードする行動力、生涯に亘る自己実現力）を備えた人材を育成するため、教養教育科目と専門教育科目で構成される体系的なカリキュラムを提供しています。

本学部では、各学科とも4年間の一貫した教育コースを設定しています。1年次には、全学規模で開講される教養教育科目に加え、理学部全学科共通の専門基礎科目および各学科で開講する専門科目を通じ、大学で自然科学を学んでいく上で基礎となる知識や技術について学びます。2年次では専門科目の割合が高くなります。3年次には、より高度な内容の講義や学際分野の講義が設定されています。また、専門教育科目で習得した知識を自ら実践・確認し、より深く理解するための実験および演習科目も設定されています。4年次には、配属された研究室において課題研究やゼミナールを中心とした密度の濃い専門教育を提供しており、先端的な研究を自ら実施することで、社会の要請に応える専門知識と実践的能力が獲得できる内容になっています。

3) 入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

教育内容・特色

理学部は、数学科、物理学科、化学科、生物学科、地球科学科の5学科に加え、臨海実験所、界面科学研究施設の2附属施設から構成されています。理学部では、4年一貫の少人数教育を採用しています。1年次では教養科目を学びつつ各学科で基礎的な専門科目を学びます。2・3年次では研究活動に関連

する専門科目を学び、4年次で特定のテーマに沿った課題研究（卒業研究）やセミナーなどを通じて専門知識を究めます。これらの教育を通じて、物事や身のさまざまな事象の本質をつかみ、論理的に思考できる能力を養成し、以下のような人材を育成します。

1. 自然科学の幅広い分野の基礎知識を習得し、広い視野と柔軟な研究能力を身につけ、独創的な研究を推進できる人材
2. 習得した専門分野の知識を活用する能力を持ち、自らが新しい分野に積極的に挑戦できる人材
3. 幅広い教養と英語によるコミュニケーション能力を身につけ、グローバル化が進むこれからの世界で活躍し、広く国際社会に貢献できる人材

求める人材

理学部では、基礎的かつ総合的な学力を重視しつつ、以下のような意欲と能力をもった学生を求めています。

1. 自然科学の基礎を学び、その知識や能力を社会で活かしたいと考える人
2. 自然現象を原理や法則から理解したいと考える人
3. 真理探究への情熱をもっている人

第3年次編入学試験に関する入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）について、詳しくは以下のURLをご覧ください。

<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/policy19.html>